

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
乙部	1	<p>上大ケ生地域の飲料水供給設備の早期実現について</p> <p>上大ケ生に「安全安心な飲料水を！」と平成25年から取り組み、27年には「上大ケ生飲料水供給施設導入推進会」を結成して、市環境部と地区民の懇談会、本会と市環境部の協議を数多く重ねながら、市当局の現地実態調査などをしていただき、「その結果をふまえ、上大ケ生全戸のアンケート調査を予定している。」とのことで、お蔭様で実現に向けての兆しが見えてきたと理解しているところです。しかし、残念なことに、導入の時期は明記されておりません。</p> <p>「上大ケ生だけではなく、他の未給水地域のことも考慮しなければならぬ。」との市当局からのお話もあり、立場も理解したいところではありますが、今現在、水が無いと風呂は遠方の銭湯を利用し、洗濯は洗濯機に水が溜まらないのでコインランドリー、飲み水はペットボトルを購入、日照りの時期は水が枯れ、雨が降ると混濁し、厳寒時には途中で凍って出てこないなど、現地調査で確認いただいたとおりであります。</p> <p>また、昨今、野生動物の出現が多々見られ、不衛生な水による人体への影響の恐れを最も懸念しています。若夫婦は、子供を連れて水に苦労のない街に引っ越すという状態が続いています。我々住民が安心して生活を維持していくためには、安定した水量と衛生的な飲料水の確保は生命線上、必要不可欠です。</p> <p>今年度、市の予算に計上はありませんでしたが、上記の実情を鑑み、予算を確保して早急を実現するよう、住民を代表し切にお願い申し上げます。</p> <p>また、全く水が出なくなったなど、特に生活に支障が出ている世帯には、緊急措置として給水車の対応をお願いします。(上大ケ生自治公民館・上大ケ生飲料水供給施設導入推進会)</p>	<p>上大ケ生自治公民館及び平成28年に結成された上大ケ生飲料水供給施設事業導入推進会と協議を進めてきており、地理的な条件や費用負担等から、地元からは玉山地域と同様の助成制度の実施について御要望をいただいたところです。</p> <p>玉山地域で実施している補助事業は、合併に伴う新市建設計画として地域を限って実施していることから、上大ケ生地域での実施に向け6月に実施したアンケート調査の結果を踏まえて、事業実施を前提とした制度設計について現在検討しているところであり、早期に飲用水の安定的な確保ができるよう努めてまいります。</p> <p>また、給水車の対応については、大規模災害などの緊急措置として対応しておりますので、御理解賜りたいと存じます。</p>	<p>環境部 環境企画課</p> <p>上下水道部 給排水課</p>

平成29年度 乙部地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成29年7月10日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
乙部	2	<p>無堤防地域の対策について</p> <p>黒川南地域は、北上川のすぐそばにあっても堤防がありません。常に水害を心配しています。</p> <p>また、20地割から21地割の一部にかけては、国道396号より低地にありながら排水路がなく、台風、大雨による雨水の行き所が無く、田んぼ、果樹園、一部の住宅が浸水します。</p> <p>対策をお願いします。</p> <p>(黒川南町内会)</p>	<p>当該地域につきましては、堤防が未整備状況であり、市として管理者である国土交通省岩手河川国道事務所に整備要望を行っているところでありますが、北上川に関しては多くの整備予定箇所があり、当該箇所につきましては中流部の事業進捗状況や予算等を勘案しながら進めていくと伺っておりますので、引き続き早期着手がなされるよう要望を行ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、黒川20地割及び21地割の浸水対策につきましては、堤防整備と併せた対策が必要となりますことから、当面の対策としましては、現在の排水路の排水能力を適切に確保するよう、市では随時パトロールを実施するとともに、岩手県盛岡広域振興局が管理する排水路につきましては、県に状況に応じた点検をお願いし、連携を執りながら、対応してまいりたいと存じます。</p>	建設部 河川課
乙部	3	<p>下水道整備について</p> <p>盛岡市は、行政人口に対して90%以上の下水処理人口のようです。しかし、私たちの地域は、下水道整備が遅れていて、今後10年以上かかっても整備はかなわないだろうと言われていきます。私たちも年齢からすれば、10年後は分かりません。それよりも子供たちが心配です。水洗トイレではない子供の家には友達も来ない、またイジメというような話も聞きます。県都盛岡といわれていますが、私たちの地域は、盛岡市より蚊帳の外にはじき出されているようにも感じます。箱物の建設よりも、市民生活の基本となるインフラ整備を最優先に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、乙部地区の下水道整備について、進捗状況と今後の整備計画を教えてください。</p> <p>(黒川南町内会・境町内会自治公民館)</p>	<p>盛岡市における、平成28年度末時点の行政人口に対する汚水処理人口普及率は95.3%であり、その内訳は公共下水道が88.5%、残りが農業集落排水区域や合併浄化槽等により水洗化が図られております。</p> <p>乙部地区の下水道整備につきましては、平成23年度に県の流域下水道手代森幹線が北上川を横断し整備されたことにより、先行整備された手代森団地などの地区が供用開始され、現在、滝村地区から峰崎、黒川中通り地区までの区域を下水道を整備する事業計画区域に取り込んでいるところです。</p> <p>現在の整備進捗状況は、下水道の幹線整備が大沢川を横断したところであり、現事業計画区域内の整備完了には後10年程度を要する見込みです。</p> <p>黒川南町内会、及び境町内会自治公民館の公共下水道整備につきましては、現事業計画区域の上流に当たることから、この次に取り組むべき地域と考えておりますので、御理解をお願いします。</p> <p>なお、公共下水道の事業計画区域に入っていない地域で早期の水洗化を御希望される場合は、浄化槽設置費の補助制度が活用できますので御検討ください。</p>	上下水道部 下水道整備課

平成29年度 乙部地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成29年7月10日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
乙部	4	<p>乙部地区のまちづくりについて</p> <p>盛岡市の人口は微増傾向にあるものの、将来人口は減少が見込まれています。また、老年人口の割合も増加し、少子高齢化がさらに進行するものと見込まれております。こうしたなか、乙部地区でも同様の傾向にあります。</p> <p>今後、地区の発展、活性化を考えた場合、例えば道の駅のような中核施設を中心に賑わいを創造する必要があるものと考えますが、盛岡市として、将来の乙部地区のまちづくりをどのように考えているのか懇談したい。 (境町内会自治公民館)</p>	<p>市は、「第2次盛岡市地域協働推進計画」に基づき、地区内の多様な主体が協力して計画を策定し、まちづくりを行う地域協働の取組に対し、職員や補助金による支援を行っています。</p> <p>乙部地区においては、「乙部地域協働のまちづくり事業推進委員会」を中心として策定された「乙部地域まちづくり計画」により、乙部地区の特性を活かした様々な事業に取り組まれています。</p> <p>例えば、文化継承や郷土愛を育むため、地区の史跡や伝統文化などを紹介した「宝マップ」や地域の民謡を収録したCDの作成、また生涯スポーツや地域交流の推進のため、「ゲートボール場の整備」や「スポーツ大会」等に力を注がれています。さらに、乙部地区の災害の歴史を写真集にまとめ、災害における危機意識と地域で助け合う互助の重要性の啓発を図るなど、積極的に事業が展開されています。</p> <p>この推進計画に基づく支援は、施設の建設に係る費用を補助の対象とするものではありませんが、地区の自主性を尊重したまちづくりの推進及び地域振興の担い手づくりのため、地域の方々が中心となり策定したまちづくり計画に対する取組について、今後も引き続き支援してまいります。</p> <p>なお、この推進計画とは別事業となりますが、乙部地区にある乙部体育館については建て替えを予定しており、平成34年度に(仮称)都南東部体育館が完成する予定となっております。(それに伴い、平成34年度に乙部体育館は建て壊しとなります。)</p>	<p>市民部 市民協働推進課</p>

平成29年度 乙部地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成29年7月10日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
			<p>乙部地区に道の駅などの中核施設を整備する計画はございませんが、市といたしましては、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、地域活動の低迷や産業の担い手不足など、さまざまな課題がありますことから、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる、「若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出」などの取組を推進し、農林業や観光など、地域の特徴を生かした産業の振興を図ってまいります。</p> <p>また、本年度から大ケ生地域で農業を軸とした活動を行っていただくため、「地域おこし協力隊」を配属する予定となっており、6月1日に1名が着任しておりますので、外部の視点を生かした地域の新たな魅力の発掘や農産物の販路拡大、情報発信などに、地域の皆さまとともに取り組んでまいりたいと存じております。</p> <p>※ 「地域おこし協力隊」 都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、地域おこしの支援や地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。</p>	<p>市長公室 企画調整課</p>